

1, 学校の教育目標

体育・・・基本的生活習慣を身に付け、健康な心と身体を育てたい。

情操・・・身の回りの出来事や自然に興味を持ち、感動する豊かな人間性を育てたい。

協調・・・自分で考え行動し、学びを深めて友達と協力できる社会性を育てたい。

2, 本年度重点的に取り組む目標・計画

子ども理解を深め、一人一人を大切にした教育の実践を目指す。

3, 評価項目の取り組み状況

評 価 項 目	評価	取り組み状況
(1) 生活や遊びから行事に つなげられることを意識し、 子どもの思い・興味・発達を 尊重した保育をしていく。	B	・遊びの様子、つぶやき、子ども同士の 会話から思いを読み取り、対話を重ねながら 子ども理解を深めていく。 ・子どもの姿に合わせたねらいを持って週案の 立案、振り返りをし、成長につながるような 環境構成、援助をしている。 ・発達、好きな遊び、興味から行事に つなげることで参加意欲や達成感を 感じられるよう子どもを主体とした保育に 努めている。 ・1、2歳児の保育では生活と遊びの つながりや、発達に合わせて安全面に考慮 した環境設定ができるよう話し合いを おこない、その都度見直している。
(2) 安心・安全に過ごすための 備えや見直しを行い、日々の 避難訓練で安全意識の向上を 図る。	B	・避難訓練ではこれまでの積み重ねにより 素早い行動が身に付いている。訓練後は 子どもと振り返りをおこない、身を守る方法 を再確認している。また、教師間でも 振り返りをおこない、課題、解決策を見出し いざという時に備えている。 ・園舎内外の設備や遊具点検をし、破損や劣化 があった場合は園長に報告し修繕、補修を している。 ・各保育室が安全で子どもの興味、発達に 沿った環境であるか色々な視点から 意見交換をおこない、よりよい環境設定に なるようにしている。 ・感染症の流行時には保護者に園児の罹患数を 知らせ園内の清掃や消毒に気を配り、 感染拡大の予防に努めている。

4, 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価	理由
B	・生活や遊びの様子から行事につなげられるよう、子ども同士の対話を大切にし、一緒に話し合いを進めてきた。しかし、子どもの姿や行事につながる保育の見通しを持つことができず指導中心になってしまうこともあり子ども主体の行事の在り方として不十分であった。 ・子どもの様子や育ちを読み取り、遊びの展開につなげていく際、子どもの思いと教師の意図にずれが生じることがある。子どもの理解を深められるよう教師間で子どもの姿を共有し意見交換をしたり、保護者とのコミュニケーションを取ったりすることが足りなかった。 ・1、2歳児は一人一人の発達段階に配慮し、生活や遊びに合わせ、安全で安心できる環境設定を話し合い、その都度改善するようにしてきた。教師間のコミュニケーションを大事にし、保育の質の向上に努めていく必要があった。

5, 今後取り組む課題

課 題	具体的な取り組み方法
(1) 子ども主体の保育	・子ども同士の対話から遊びの展開を予想し、環境構成や援助を行うことで、子ども自身が考え選択し、試行錯誤する経験を大切にする。 ・子どもの興味、遊びの様子から行事について考えたり、一緒に話し合いながら進めたりしていき、子ども主体の保育に努める。 ・1、2歳児は一人一人の発達段階に配慮した環境構成、援助をおこない、3～5歳児の成長につながるよう意識した保育を目指していく。
(2) 教師間の連携	・教師間で保育を振り返り、子どもの様子や成長を共通理解したり意見交換をしたりして、課題や改善点を見出し次の保育につなげていく。 ・子どもの様子の把握、情報共有をしたうえで、保護者とも話し合い、園と家庭の両方で子どもの育ちを支えていく。

6, 学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、良好な運営状態であると認められた。

7, 財務状況

公認会計士による監査にて、適正に運営されていると認められた。